

<デール・カーネギーの言葉>

「 不当な非難は、しばしば偽装された賛辞であることを忘れてはならない。死んだ犬を蹴飛ばすものはいないことを思い出そう」

「 忙しい状態にいること。悩みをかかえた人間は絶望感に打ち負けないために身を粉にして活動しなければならない」

「 私たちは聖者と違って自分の敵を愛すのは無理かもしれない。けれども、自分自身の健康と幸福のために少なくとも敵を赦し、忘れてしまおう」

「 私たちが敵に憎しみを感じるとむしろ自分自身が敵に支配されることになる」

「 過去と未来を鉄の扉で閉ざせ 今日一日の枠の中で生きよう」

「 他人の短所を見れば憂うつになり他人の長所を見れば人生が明るくなる」

「 勇気ある人間になりたければ本当に勇気があるかのように振舞うこと。そうすれば元気が出てきて『自分だって、あれくらいのことはできる』という気になるから妙だ」

「 運命がレモンをくれたらそれでレモネードを作る努力をしよう」

「 快活に考え行動すれば、自然に愉快になる」

「 他人に興味を持つことによって自分自身を忘れよう」

「 私たちの疲労は仕事によって生じたのではなく悩み、挫折、後悔が原因となっていることが多い」

「 幸不幸は、財産、地位、あるいは職業などによって決まるものではない。何を幸福と考え、また不幸として考えるか、その考え方が幸不幸の分かれ目なのである」

「 世の中の人には誰でも幸せになりたいと思っている。それを手に入れる方法が一つある。それは自分の気持ちの持ち方を変えることだ」

「 幸福への道はただ一つしか無い。それは我々の意思の力では、どうにもならない事柄について悩む事をやめることにある」

「 みじめになる秘訣は自分が幸福か幸福でないかを考える暇を持つことである」

「 不可能だと思わない限り人間は決して敗北しない」

「 人間は逃げ場がなくなれば、不幸と災難に耐え抜き、それを克服することができるものだ」

「 恐怖を克服する決心をしさえすればたいていの恐怖は克服できる。恐怖は人の心の中にしか存在しないからだ」

「 優柔右折は疑いと恐怖心を生み出し行動は勇気を生み出す。恐怖心を克服するには家に閉じこもってくよくよしては駄目だ。外へ出て仕事に精を出すことだ」

「 もし人生に退屈しているなら何か心からやり甲斐があると信じている仕事に没頭することだ『この仕事こそ生き甲斐だ、死んでも悔いはない』という気持ちで働けば夢のように幸福な人生が訪れる」

「 我々の大切な任務は遠くにあるぼんやりとしたものを見ることでは無い。はっきりと手近にあるものを実行することである」

「 一見たいしたことない仕事でも思い切って全力を注ぐことだ。仕事を一つ征服するごとに実力が増していく。小さい仕事を立派に果たせるようになれば、大仕事のほうはひとりでの片がつく」